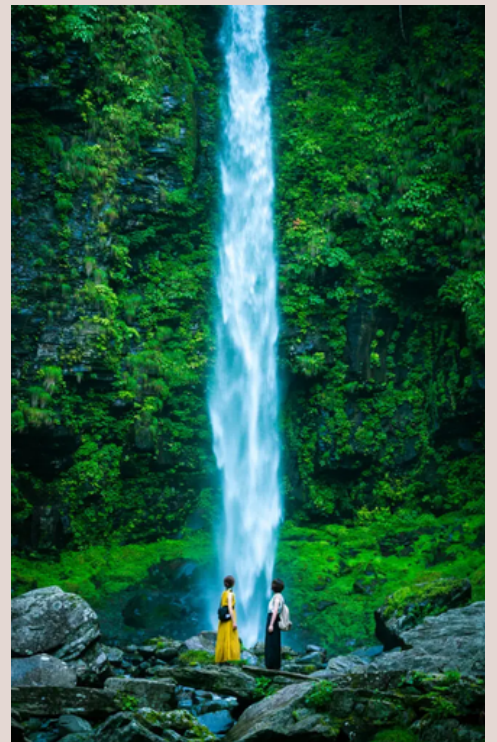
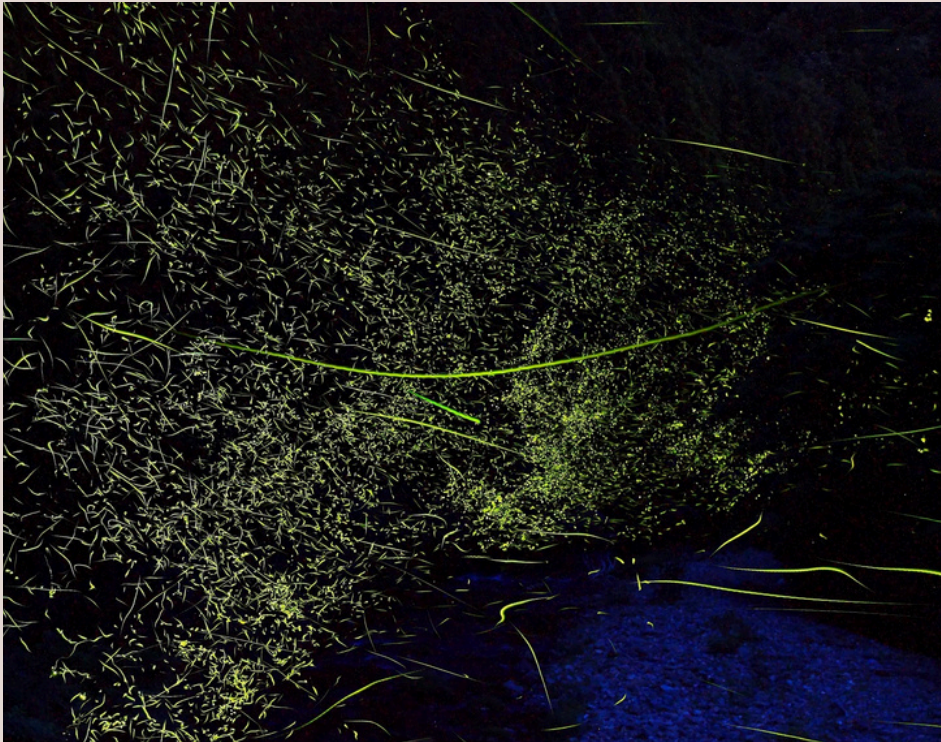


TABI TABI GUJO

令和8年6月 TABITABI郡上通信

郡上市観光連盟からのお知らせ



TABITABI郡上通信とは？

TABITABI郡上通信は、毎月発行の情報誌。郡上市観光レポートの考察に加えモニターツアーや商談会報告などの郡上市観光連盟の活動に加え、新規補助金や勉強会・講習会の案内、新たに造成したツアー商品、観光データなど、市内事業者が参考になるような最新情報をお届けしていきます。

SNS紹介後の反響をお届けします!!

TABITABI郡上のSNS（InstagramやTikTokなど）での紹介をきっかけに、投稿後に「フォロワー数が増えた」「実際に来店があった」といった反響が寄せられています。一部の事業者様からのお声をご紹介します。

今後もTABITABI郡上では、SNSを活用した魅力発信を続けてまいります。

※紹介を希望される事業者の方は郡上市観光連盟までご連絡ください。



2026年5月3日
道の駅和良
「はざこ五平餅」



2026年5月3日
道の駅和良
「れすとはうす憧夢」



先日はご紹介いただきありがとうございました！

レストランでは紹介いただいたメニューが多く出るようになりましたし、五平餅についてもそれを目的とした来訪もありました。

白鳥町「ヘソニナル交流拠点 こびる」にてSNS勉強会を開催しました！

5月10日、ヘソニナル交流拠点「こびる」にて、TABITABI郡上編集部が講師を務めるSNS講座が開催され、当日は高校生を含む6名が受講しました。

講座では、Instagramやショート動画を活用した情報発信の仕組みや、投稿が多くの人に届くアルゴリズムについて座学で学びました。続く実践ワークでは、各自のスマートフォンを使って動画の撮影から編集、投稿までを実際に体験。地域活動や店舗運営、個人の発信にすぐ活かせる実践的なノウハウを習得し、参加者にとって一步を踏み出す有意義な勉強会となりました。

SNS勉強会は随時受け付けております。開催を希望される方は、郡上市観光連盟の宇佐見までお気軽にお声がけください。



当日の様子

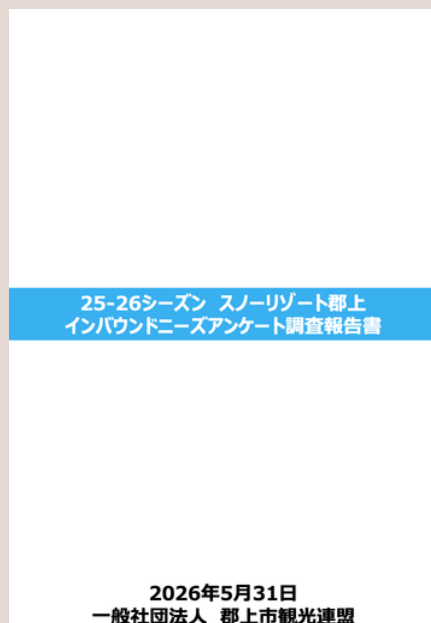
25-26シーズン スノーリゾート郡上 インバウンドニーズアンケートをアップしました！

2025年12月から2026年4月にかけて、市内スキー場9施設でインバウンドニーズアンケートを実施し、前年を上回る343件の回答をいただきました。

回答者は台湾を中心に、中国・香港・東南アジア・欧米圏など多様な国・地域に広がり、回答言語では英語が45.5%と最も高い割合となりました。また、初めて郡上を訪れた方が64.7%を占めており、引き続き多くの新規来訪者が訪れていることが分かりました。

来訪目的はスノーボード（35.9%）、スキー（35.4%）が中心ですが、雪遊びの割合も増加しており、ファミリー層や初心者層の利用拡大が伺えます。実際に同伴者では家族が44.6%と最も多く、家族向けニーズの高さも見られました。

満足度では「スタッフ対応」や「アクティビティ」が高く評価される一方、「Wi-Fi環境」「シャトルバス」「案内表示」などの改善を求める声も寄せられました。今後も多様化するインバウンドニーズを把握しながら、より快適な受入環境づくりと満足度向上に取り組んでいきます。



[レポートの詳細を見る\(ハイパーリンク\)](#)

25-26シーズン スノーリゾート郡上 外国人レンタル利用者数を集計しました！

今シーズンよりスキー場各社のご協力のもと、スキー場のレンタルを利用した外国人来場者数の集計を実施しました。

集計の結果、レンタル利用者は約12,000人となりました。今年のスノーリゾート郡上全体の入込客数は1,041,910人であり、このデータから推計すると外国人利用者は全体の約1.1%を占めています。

また、国内在住外国人を除いた場合は約0.68%となり、日本在住の外国人利用者が多いことも特徴として見られました。

国籍別では台湾が最も多く、香港、中国を含めた東アジア圏、さらにフィリピン、インドネシア、ベトナム、シンガポール、タイなど東南アジア圏からの利用が多く見られました。特に台湾市場は大きく伸長しており、現地旅行会社との連携やツアー等での宿泊利用などの傾向が要因に推測されます。

また、バスツアーの立ち寄り実績では、タイや台湾からの来訪が多く、スキー・スノーボードだけでなく、雪遊びや雪景色を楽しむ目的で訪れる観光客も多かったことが分かりました。

今後もスキー場各社のご協力をいただきながら継続的に調査を実施し、外国人観光客の動向やニーズを把握することで、スノーリゾート郡上の更なる誘客促進と受入環境の向上につなげていきます。



[レポートの詳細を見る\(ハイパーリンク\)](#)

R8年4月度観光レポート考察

宿泊客数

14,287人

前年同月比 87.3%
R1年比 45.8%
(観光レポート2P~)

4月の宿泊客数は14,287人で、前年同月比87.3%と減少。

前年は4月に入っても複数のスキー場が営業していたことで、スキー目的の宿泊が一定数見られたが、今年は気温上昇に伴う早期クローズにより減少。高鷲においては「ホテル」が前年を下回り、白鳥でも「民宿」「旅館」が前年を下回った。その他、世界的な物価高騰の影響により、宿泊を伴う旅行を控える傾向が続き、「コテージ」や「キャンプ」のライト層の利用が伸び悩んでいることも施設からの聞き取りで分かっている。

なお、「キャンプ」に関しては、一部施設でリピーター利用が多く見られたほか、八幡では教育旅行の団体利用人数が前年を上回ったことで、前年を上回る結果となった。

また、R1年比では45.8%に留まっており、団体利用の減少や、ホテル郡上八幡の閉業や人手不足による受け入れキャパの縮小、その他R1年4月は改元に伴う10連休と好天が重なり、例年より宿泊需要が高かったことなどが減少の要因に挙げられる。

外国人宿泊客数

1,170人

前年同月比 67.1%
R1年比 53.6%
(観光レポート3P~)

外国人宿泊客数は1,170人で、前年同月比67.1%と減少。

地域別では高鷲の減少が特に大きく、全体の宿泊動向と同様にスキー目的による利用が減少したことが大きな要因。特に「台湾」「韓国」からの利用減がホテルでみられたほか、「タイ」については団体旅行における周遊ルートの変更により減少となっている。

また、「アメリカ」については、大和のホテルにおける会員利用が減少したことが施設からの聞き取りで分かっている他、「中国」についても、引き続き日中関係の悪化の影響により利用が伸び悩む結果となった。

一方で、八幡は前年から微増。旅館を中心に、欧米をはじめとした幅広い地域からの個人旅行の利用が増加しており、インターネット予約サイトを活用した宿泊予約が伸びていることが施設からの聞き取りで分かっている。

施設入込客数

288,763人

前年同月比 102.1%
R1年比 87.9%
(観光レポート5P~)

施設入込客数は288,763人で、前年同月比102.1%と微増。

スキー場の早期クローズに伴い、「スキー・スノーボード」は前年を下回り、アフタースキーの立ち寄り需要である「温泉」も減少した。一方で、それ以外の分類については前年を上回る動きが見られた。

暖かい気候により川のコンディションや釣果が良好であったことから、「アウトドア」が増加。また、ゴルフ場が早期にオープンしたことによる利用の増加による「スポーツ・レクリエーション」、さらに、チューリップの開花が前年より早まったことで牧歌の里への来訪も伸びて「産業観光」が増加したほか、桜や芝桜を目的とした立ち寄り利用も多く見られ、道の駅の「買物」も前年を上回る結果となった。

なお、道の駅の入込客数は「売上÷客単価」により算出しているため、一部施設では価格改定による売上増加が影響している可能性がある。

物価高騰の影響で宿泊需要は伸び悩む一方、近距離圏からの日帰りや短時間滞在による来訪は安定的に推移していることが、施設からの聞き取りで分かっている。

Webサイトアクセス数

109,823

セッション
前年同月比 109.7%
(観光レポート6P~)

R8年4月のWebサイト流入数は109,823セッションで、前年同月比109.7%と増加。

前年より気温が高く推移したことでグリーンシーズンの観光需要が早期に高まり、桜や芝桜などリアルタイムな情報を求める検索が増加。週末を中心に流入数が堅調に推移し、自然検索(Organic Search)は前年同月比105.1%となり、全体増加の要因となった。

検索ワードでは、「郡上八幡」を中心に、「食べ歩き」「モデルコース」「郡上おどり」が好調で、「郡上八幡春祭り」「白鳥おどりin池袋」などイベント関連検索も増加した。情報を適時更新したことで、ユーザーニーズに対応できたものと考えられる。

ユーザー属性では45~54歳が前年を下回った一方、55歳以上は18.4%増加。自然検索からの流入が伸長しており、気温上昇による外出・観光需要の高まりが影響した可能性が考えられる。また、「郡上八幡の宿泊」「エリアガイド郡上八幡」など宿泊・滞在系コンテンツの閲覧も多く見られた。

地域別では静岡県、神奈川県、東京都からの流入が増加。神奈川県と東京都では、4月25日放送のテレビ番組の影響により「郡上八幡」関連検索が伸長したと考えられる。静岡県や三重県では検索順位上昇による流入増加が推測されるが、詳細な要因については引き続き分析を進めていく。

今後もニュース・イベントページを活用したリアルタイムの情報発信を継続するとともに、夏季のWeb広告配信に向けた関連ページの改修やサイト内導線の強化を進め、来訪意欲の醸成につなげていく。

R8年4月度観光レポート考察

メールマガジン成績 (観光レポート9P～)

4月は「春のイベント」「花情報」「GWのお出かけ・宿泊特集」「アウトドア体験」「田んぼオーナー募集」など、春からGWにかけての季節情報を中心に、**計10件のメールマガジンを配信**。

平均開封率は**24.2%**、リンククリック率は**3.4%**となり、3月（開封率23.0%、リンククリック率2.8%）を上回った。4月はセグメント配信を強化したことで平均配信件数は減少したものの、興味関心に応じた情報提供ができたことで、全体の成績向上につながった。

特に、イベント情報や花スポット紹介は高い開封率・リンククリック率を獲得しており、観光需要が高まる時期に合わせた適切な情報発信が効果的な訴求となった。イベント関連では、愛知県・岐阜県ユーザーの反応が良く、近隣エリアからの来訪意欲の高さがうかがえる。

また、家族向けに配信した「コテージ特集」や「お出かけスポット紹介」についてもクリック率が高く、ファミリー層への訴求が十分にできていると考える。

その他、「和良町 田んぼオーナー募集」はリンククリック率が9%前後と非常に高い反応を記録し、プレゼントキャンペーン並みの反応率となったことから、当企画のニーズの高さが確認できる。また、この高いクリック率が月全体の成績向上にも寄与する結果となった。

ユーザー行動では、和良町 田んぼオーナー募集が**定員50組に対して78組の応募があり**、「TABITABI郡上を見て応募した」という声も聞かれたほか、「郡上ノアソブ」についても**配信後に9件（約18万円）の予約申込**があり、メールマガジンが認知拡大だけでなく実際の行動喚起にもつながったことが読み取れる。

一方、ふるさと寄附申込を目的としたゴルフ場紹介についてはクリック率が低調に推移。ふるさと納税関連のメールは全体的にクリック率が弱い傾向にあるため、今後は訴求方法や返礼品の見せ方、導線設計の改善を進めていく。

6月以降も季節情報に合わせたセグメント配信を継続し、興味関心に応じた情報を高頻度で届けることで、来訪・予約・消費などのユーザー行動につなげていく。

SNS成績 (観光レポート9P～)

4月は「郡上八幡春まつり」をはじめ、「桜」「芝桜」「チューリップ」などの春の景観情報やグルメ、スキーシーズンのハイライトなど**計30件を投稿**。

閲覧数は**741,189回（前月比73.7%）**、**インタラクション数は16,073件（同80.1%）**となり、**前月を下回ったものの、フォロワーは285人増加した**。

前月は高保存・高再生を記録したグルメ投稿が全体を牽引したが、4月はそのような突出した投稿がなかったことが減少の要因。一方で、月25件以上の投稿頻度を維持しながら、2万回以上の再生を獲得する投稿も多く、安定した運用を継続することができていると考える。

特に「國田家の芝桜」や「和良町の桜」などの花景観投稿、「郡上八幡春まつり」関連投稿は高い反応を獲得し、春まつりについては、祭り当日だけでなく大神楽の練習風景なども段階的に発信し、来訪前から期待感を醸成する取組を実施した。今後は他の祭りにも同様の手法を展開し、認知拡大から来訪促進につなげていきたい。

また、スキー場のハイライト投稿は施設側からのシェアもあり、シーズンの締めくくりとして良好な成果を得た。5月以降は新緑や初夏の風景に加え、来訪や消費行動につながるグルメ情報、郡上おどり関連情報の発信を強化するとともに、一次産業や地域の暮らしなど、郡上の多様な魅力発信にも取り組んでいく。